

## Ⅱ. 後期基本計画

### 施策43 教育環境の充実

#### 施策の目指す姿

校舎などの長寿命化や機能向上を図った改修による、安全で快適な教育環境のなかで、児童生徒が学校生活を送っています。また、学校ICT<sup>\*1</sup>環境が整備され、ICTに関する理解や活用能力を高める教育が行われています。

#### 施策の現状

快適な学習環境を確保するため、冷暖房設備を順次改修しており、平成29年度までに市内小中学校23校全ての改修が完了しています。また、小学校15校のトイレ1系統の洋式化の改修を令和2年度までに完了しました。また、学校施設については、建設から30年以上が経過した建物が増え、建物の老朽化や施設の機能劣化が進んでいることから、学校施設の計画的な保全と機能向上を図るため、学校施設の長寿命化計画の策定を進めています。

学校図書館に図書館司書を段階的に配置するとともに、蔵書管理のICT化の準備を進めています。

入間川学校給食センター、柏原学校給食センター及び堀兼学校給食センターでは、PFI<sup>\*2</sup>事業方式を導入し、学校給食衛生管理基準に基づき、安全でおいしい給食を提供するとともに、食物アレルギー対応食を提供しています。

学校ICT環境として、全校に整備された校務用の情報端末、児童生徒に1人1台整備された情報端末及び校内無線LAN・高速大容量通信ネットワークの活用を推進しています。

学校規模により生じる課題を解消し、子供たちのより良い教育環境を目指して、平成30年3月に「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」を改訂しました。

#### 施策の課題

- 児童生徒が安全で快適に学校生活を送ることができるよう、教育環境を充実させる必要があります。
- 児童生徒数の減少により適正規模に満たない学校が存在するなど、学校の小規模化に伴う学習面、生活面、学校運営面等の影響が懸念されます。少子化の進行により今後も児童生徒数の減少が見込まれる中では、小規模の学校を解消していく方策を計画的に講じるなどして、活力ある学校づくりを推進していく必要があります。
- 入間川学校給食センター、柏原学校給食センターについては、令和5年度をもってPFI事業期間が終了となるため、その後の運営手法について検討する必要があります。

### 主なとりくみ

#### (1) 校舎などの改修の推進

- 快適な教育環境を確保するため、各中学校生徒用1系統のトイレ及び教職員用トイレの洋式化への改修を計画的に行います。
- 小中学校の校舎などの保全及び機能の向上を図るため、学校施設の長寿命化計画に基づき、改修を計画的に行うとともに、時代に即応した教育環境を確保します。

#### (2) 学校図書館の充実

- 学校図書館司書を各校に配置するとともに、蔵書管理を効率化し、学校図書館の利用を促進します。

#### (3) 学校給食の充実

- 栄養のバランスを考慮した安全でおいしい給食を提供するとともに、食物アレルギーに適切に対応した給食を提供します。また、栄養教諭や学校栄養職員等と、学校給食を生きた教材として活用し、各家庭と連携して正しい食生活、食習慣を身に付けるための食育を推進するとともに、栄養バランスを考慮した献立、旬の食材や地場産物の積極的な採用、行事食を充実させることにより、学校給食の更なる充実を図ります。
- 入間川及び柏原学校給食センターのPFI事業期間終了後の当該施設の維持管理等については、引き続き効率的かつ効果的に運営が図られるよう、その手法について検討します。

#### (4) 学校ICT環境の充実

- デジタル教科書をはじめとするデジタル教材を活用するためのICT環境を整備します。また、授業におけるデジタル教材の活用に向け、サポート体制を充実します。
- GIGAスクール構想<sup>※3</sup>に基づき、小中学校の児童生徒に1人1台整備された情報端末の活用を推進します。

#### (5) 学校の規模と配置の適正化

- 「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」に基づき、既に複数の学年で単学級が生じている小学校において、小規模化による学習指導や学校運営上の課題を早期に解消させる観点から、小学校の規模と配置の適正化を計画的に進めます。
- 児童生徒数の減少による学校規模の小規模化や学校施設の老朽化度を踏まえ、小中学校の再編について検討します。

#### ※1 ICTとは

Information and Communication Technology の略で、情報処理及び情報通信に関する技術の総称のこと。従来から使われているIT (Information Technology) に代わる言葉として使われているもの。

#### ※2 PFIとは

プライベート・ファイナンス・イニシアティブ (Private Finance Initiative) の頭文字を取ったもので、民間の資金や専門的な技術・知識を活用して、公共施設などの整備と維持管理や運営を一体的に行う事業手法のこと。

#### ※3 GIGAスクール構想とは

教育におけるICTを基盤にした先端技術等の効果的な活用を目指し、1人1台情報端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想のこと。

## Ⅱ. 後期基本計画

### 施策の成果目標

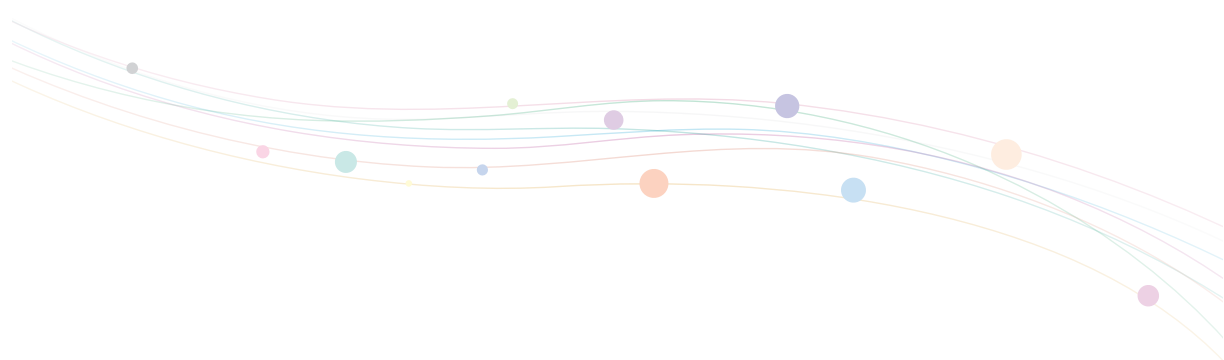
項目	実績値 令和元年度					目標値 令和7年度
	小中学校の校舎などの 長寿命化改修の実施校数 (平成26年度以降の累計)	0校				
小中学校のトイレ環境整備 の達成割合	43.5%					100%
児童生徒の情報端末の 整備率	小学校 8.9% 中学校 18.9%					小学校 100% 中学校 100%
不足しがちな栄養素の 充足率		カルシウム	鉄	ビタミン C	食物繊維	各種栄養素の 充足率を95% 以上にする
	小学校	101%	102%	137%	86%	
	中学校	94%	99%	100%	86%	

### 市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 幼稚園や小中学校の環境美化などに協力しましょう。
- 学校給食センターの運営に関心を持ち、食育の推進に協力しましょう。
- 子供たちのより良い教育環境を目指した学校の規模と配置の適正化に対する理解を深めましょう。

### 関連するSDGsのゴール

- ゴール2 飢餓をゼロに
- ゴール4 質の高い教育をみんなに
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう





改修を行った小学校のトイレ



学校 ICT 環境の整備